

# 言語文化

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
国語	言語文化	3	1年G一貫 (発展クラス)	精選 言語文化 (東京書籍)	『Key & Point 古文単語 330 三訂版』(いいずな書店) 『読解をたいせつにする体系古典文法九訂版』(数研出版) ※以上は三年次まで使用 『ステップアップノート30 古典文法基礎トータル三訂版』(河合出版) 『ステップアップノート10 漢文句形ドリルと演習』(河合出版)

学習目標	<p>【文学的文章】小説・随筆などの文学的文章を読み味わうことで、言葉の知識を増やし、豊かな感性を育む。</p> <p>【古文・漢文】上代から受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深め、社会や自分との関わりの中でそれらを生かしていく資質・能力を育む。文語文法のきまりをきちんと理解するとともに漢文訓読の基礎・漢文句法を学ぶ。</p>
学習の進め方	<p>【文学的文章】近代小説を中心に感覚的読解から論理的読解へと発展させ、読解力向上を図る。</p> <p>【古文】文語のきまり、基礎的な文法事項の習得、古文読解へのアプローチの方法を定着させる。</p> <p>【漢文】訓読のきまり、句法のきまりなどの習得、漢文読解へのアプローチの方法を定着させる。</p>
評価対象・方法	定期試験の結果に加え、授業や課題、小テスト、提出物等の取り組みなどを評価対象とし、総合的に評価する。
受講に向けての心構えと準備	日本人として大切にしてきた言語文化を、積極的に享受する姿勢をもって授業を受けてほしい。また、学んだ知識は、現代の生活にもつながりのあるものだということを意識することが大切である(他教科との関係においても同様である)。

	学習事項	学習内容	備考
一学期	(古) 古文入門 『宇治拾遺物語』 (漢) 漢文入門	(古) 用言の活用・基本的な助動詞に関する知識を定着する。短い古文の文章を読み、話の面白さを理解する。 (漢) 漢文訓読及び書き下し文の基礎的なきまりを理解する。再読文字を学習する。	第1回スタディサポート (4月)
	中間試験		
	(古) 歌物語『伊勢物語』 (漢) 寓話『戦国策』	(古) 話の展開や和歌を理解しながら、内容を読み味わう。基本的な助動詞について学習する。 (漢) 短い漢文の文章読解に慣れ、内容を正確に理解する。	
二学期	期末試験		
	(現) 小説『羅生門』 (古) 日記『土佐日記』 (漢) 句形	(現) 内容を丁寧に読み味わいながら、その主題をつかむ。近代小説を読み、短編小説についての理解を深める。 (古) 話の面白さを理解するとともに、月の異名・十二支などの古典常識を学ぶ。助動詞について、より広く学習する。 (漢) 頻出の句形を体系的に理解する。	第2回スタディサポート (9月)
	中間試験		
	(古) 随筆『徒然草』 (漢) 絶句と律詩	(古) 随筆を読みながら敬語(敬語の種類・敬意の方向)を理解する。 (漢) 漢詩の形式や規則を学び、声に出して読み味わう。	第1回進研模試 (11月) 漢字コンクール ①
期末試験			
三学	(現) 随筆『言葉をお届ける』 (古) 和歌 万葉・古今・新古今	(現) 上代から受け継がれてきた結果として、現代の言葉や文化があることをあることを理解する。詩歌と筆者の考えを比較し理解する。 (古) 秀歌を鑑賞し、万葉から新古今への流れをつかむ。	第2回進研模試 (1月) 漢字コンクール ②

	(漢) 史話『十八史略』	和歌の修辞法について学ぶ。 (漢) 基本事項を確認しながら、長い文章を読み味わう。	
学年末試験			

# 言語文化

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
国語	言語文化	3	1年G一貫 (標準)	精選 言語文化 (東京書籍)	『Key & Point 古文単語 330 四訂版』(いいずな書店) 『読解をたいせつにする体系古典文法九訂版』(数研出版) ※以上は三年次まで使用 『基礎からのジャンプアップノート 古典文法・演習ドリル改訂版』(旺文社) 『新訂増補基本セミナー漢文入門』(浜島書店)

学習目標	【文学的文章】小説・随筆などの文学的文章を読み味わうことで言葉の知識を増やし、豊かな感性を育む。 【古文・漢文】上代から受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深め、社会や自分との関わりの中でそれらを生かしていく資質・能力を育む。
学習の進め方	【文学的文章】近代小説を中心に感覚的読解から論理的読解へと発展させ、読解力向上を図る。 【古文】文語のきまり、基礎的な文法事項の習得、古文読解へのアプローチの方法を定着させる。 【漢文】訓読のきまり、句法のきまりなどの習得、漢文読解へのアプローチの方法を定着させる。
評価対象・方法	定期試験の結果に加え、授業や課題、小テスト、提出物等の取り組みなどを評価対象とし、総合的に評価する。
受講に向けての心構えと準備	日本人として大切にしてきた言語文化を、積極的に享受する姿勢をもって授業を受けてほしい。また、学んだ知識は、現代の生活にもつながりのあるものだとすることを意識することが大切である(他教科との関係においても同様である)。

	学習事項	学習内容	備考
一学期	(古) 古文入門 『宇治拾遺物語』 (漢) 漢文入門	(古) 用言の活用に関する知識を定着する。短い古文の文章を読み、話の面白さを理解する。 (漢) 漢文訓読及び書き下し文の基礎的なきまりを理解する。再読文字を学習する。	第1回スタディサポート (4月)
	中間試験		
	(古) 歌物語『伊勢物語』 (漢) 寓話『借虎威』	(古) 話の展開や和歌を理解しながら、内容を読み味わう。形容詞・形容動詞を学習し、用言をマスターする。 (漢) 漢文訓読の規則を確認しながら丁寧に読み、内容を把握する。	
二学期	(現) 小説『羅生門』 (古) 随筆『徒然草』 (漢) 故事成語『推敲』	(現) 内容を丁寧に読み味わいながら、その主題をつかむ。近代小説を読み、短編小説についての理解を深める。 (古) 用言の復習、定着を図るとともに、基本的な助動詞について学習する。 (漢) 漢文の基本事項を確認し、故事成語の逸話について知る。(現代の国語で学習する『白』の布石とする)	第2回スタディサポート (9月)
	中間試験		
	(古) 日記『土佐日記』 (漢) 絶句と律詩	(古) 表現の特色を理解し、登場人物の心情を読み味わう。助動詞について、より広く学習する。 (漢) 漢詩の形式や規則を学び、声に出して読み味わう。	第1回進研模試(11月) 漢字コンクール①
三学期	(現) 詩歌 (古) 和歌 万葉・古今・新古今 (漢) 史話『管鮑之交』	(現) リズムや表現効果に注意して詩歌を読み味わう。 (古) 秀歌を鑑賞し、万葉から新古今への流れをつかむ。和歌の修辞法について学ぶ。 (漢) 漢文の内容を正確に理解した上で、長い文章を読み味わう。	第2回進研模試(1月) 漢字コンクール②
	学年末試験		